

2022年11月9日

第74期(2023年3月期)
第2四半期決算説明資料



スタンダード 9367

当社グループについて

商社 食品メーカー 鉄鋼メーカー 化学品メーカー 量販店 倉庫業者 等のお客様

大東港運グループ

国内



(創業 1957年12月)
輸出入貨物取扱・鉄鋼物流・不動産賃貸 等

海外

連結子会社

大東運輸倉庫(株)
陸上運送・倉庫・
不動産賃貸

丸田運輸倉庫(株)
海上コンテナ運送
トラック運送

ダイトウ物流(株)
海上コンテナ運送
トラック運送

FDロジスティクス(株)
海上コンテナ運送

**大東港運(江陰)
儲運有限公司**
倉庫

中国

Ever Glory Logistics Pte.Ltd.
運送・倉庫・
フレイトフォワーディング

シンガポール

有限会社水文
白えびの
買付・加工・卸売



ダイトウ保険センター(株)
損害保険代理店
※非連結子会社

(株)真栄ロジ
貨物運送事業
※持分法適用関連会社

DB CORPORATION
エージェント業務(貨物・船)
※持分法適用関連会社

韓国

2023年3月期2nd-Qの環境

新型コロナウイルスの影響は徐々に回復の動きが見られる



- ・物価上昇
- ・金融引締め



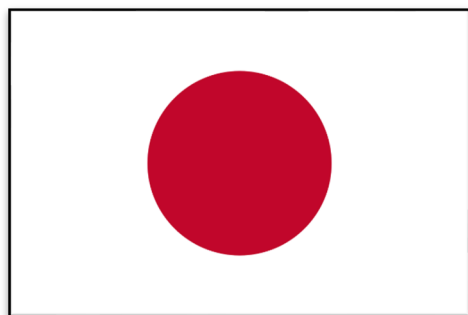
- ・ロックダウンの影響で経済成長押下



- ・対面型サービス徐々に回復の動き



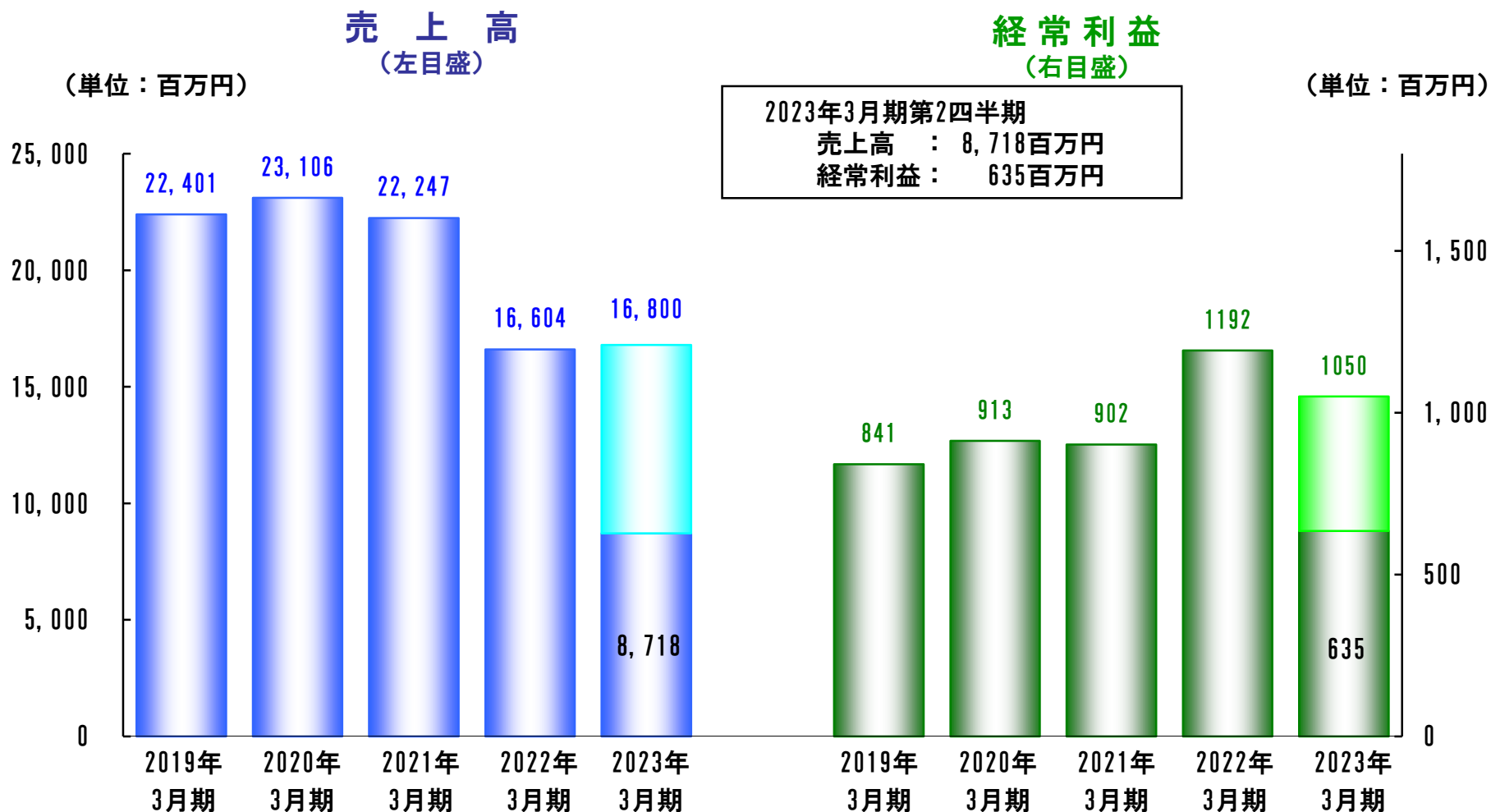
- ・物価上昇
- ・金融引締め



輸入：米国・欧州・アジアともに増加

輸出：横ばい

連結業績の推移



※2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しております。

セグメント別売上高

輸出入貨物取扱事業

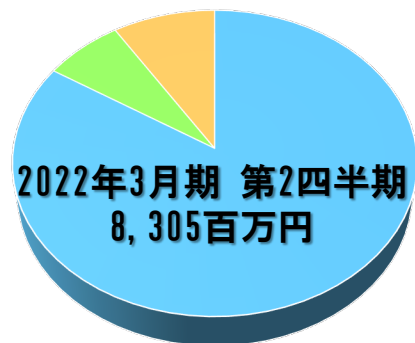
売上高：6,861百万円
前年同期間比：+264百万円
(4.0%増)

鉄鋼物流事業

売上高：828百万円
前年同期間比：▲13百万円
(1.6%減)

その他事業

売上高：1,028百万円
前年同期間比：+161百万円
(18.7%増)



業務別・取扱品目別連結売上高

連結業績

売上高：8,718百万円 前年同期間比：+413百万円（5.0%増）

輸出入貨物取扱事業

売上高：6,861百万円
前年同期間比：+264百万円
（4.0%増）

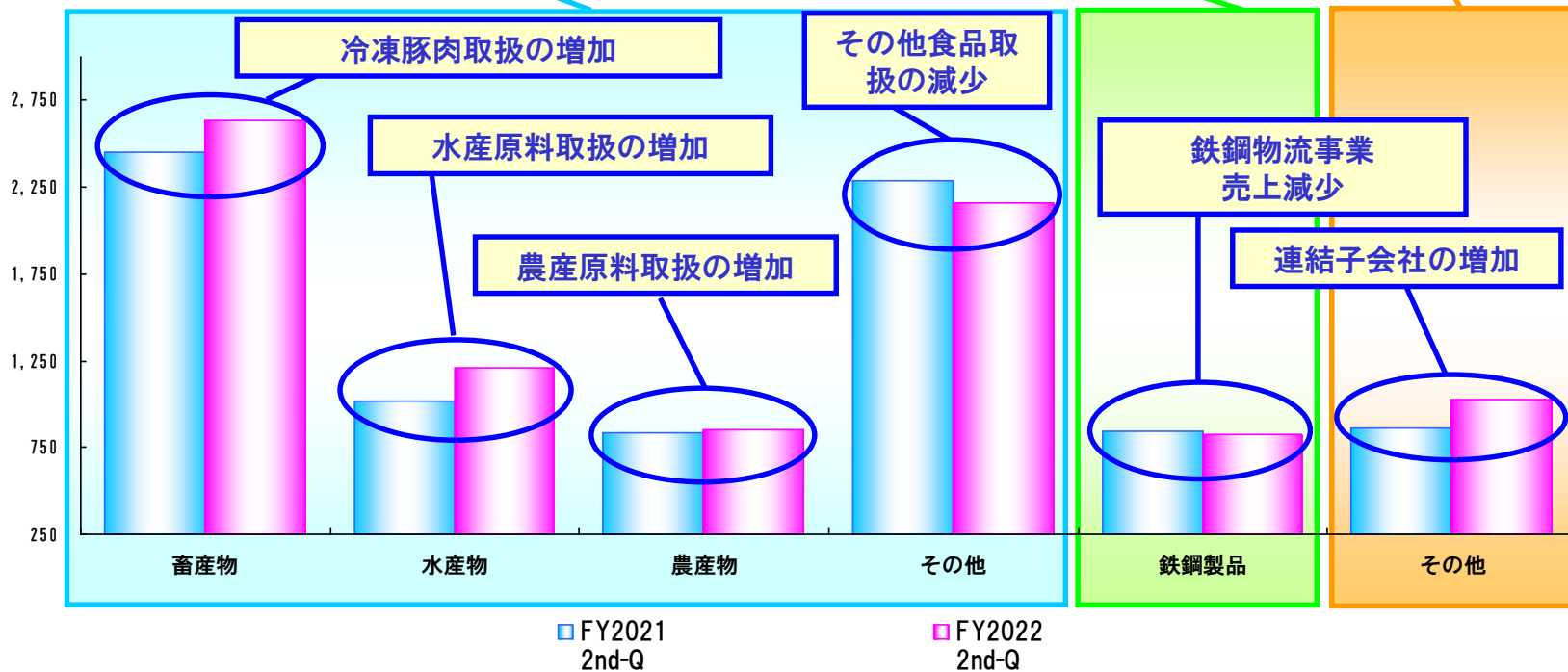
鉄鋼物流事業

売上高：828百万円
前年同期間比：▲13百万円
（1.6%減）

その他事業

売上高：1028百万円
前年同期間比：+161百万円
（18.7%増）

（単位：百万円）



連結業績の総括

連結業績の総括

売上高は、鉄鋼物流・輸出入貨物その他の取扱が減少したものの、畜産物・水産物・農産物の取扱が増加したため、増収となり、営業利益・経常利益は増益となった。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年に特別利益(投資有価証券売却益)49百万計上したため減益となった。

(単位：百万円)

		2022年 3月期 2nd-Q	2023年 3月期 2nd-Q	増減	%	主な要因	
売上高	輸出入貨物取扱	畜産物	2,456	2,633	+177	+7.2	冷凍豚肉取扱の増加
		水産物	1,017	1,211	+194	+19.1	水産原料取扱の増加
		農産物	838	857	+18	+2.3	農産原料取扱の増加
		その他	2,283	2,157	▲125	▲5.5	その他食品取扱の減少
		計	6,596	6,861	+264	+4.0	
	鉄鋼物流	842	828	▲13	▲1.6	鉄鋼物流事業売上減少	
	その他	866	1,028	+161	+18.7	連結子会社の増加により売上増加	
	合計	8,305	8,718	+413	+5.0		
営業利益		553	589	+36	+6.5		
経常利益		587	635	+47	+8.1		
親会社株主に帰属する 四半期純利益		430	427	▲3	▲0.7	前年に特別利益(投資有価証券売却益)49百万円計上	

四半期連結業績の推移（累計）

（単位：百万円）

			2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期			
			1st-Q (4-6月)	2nd-Q (4-9月)	3rd-Q (4-12月)	4th-Q 通期	1st-Q (4-6月)	2nd-Q (4-9月)	3rd-Q (4-12月)	4th-Q 通期	1st-Q (4-6月)	2nd-Q (4-9月)	3rd-Q (4-12月)	4th-Q 通期
売上高	輸出入貨物取扱	畜産物	2,125	3,975	6,036	7,879	1,257	2,456	3,703	4,870	1,359	2,633		
		水産物	779	1,494	2,344	3,021	490	1,017	1,589	2,053	564	1,211		
		農産物	780	1,489	2,271	2,990	426	838	1,261	1,656	443	857		
		その他	1,224	2,578	3,965	5,213	1,058	2,283	3,558	4,554	1,074	2,157		
		計	4,909	9,538	14,617	19,103	3,232	6,596	10,112	13,134	3,442	6,861		
	鉄鋼物流	271	560	961	1,376	428	842	1,279	1,686	407	828			
	その他	439	845	1,280	1,766	433	866	1,328	1,782	497	1,028			
	合計	5,620	10,943	16,860	22,247	4,094	8,305	12,720	16,604	4,346	8,718			
営業利益			200	317	621	782	262	553	922	1,073	315	589		
経常利益			237	380	717	902	287	587	1,002	1,192	344	635		
親会社株主に帰属する 四半期純利益 または当期純利益			160	226	452	580	191	430	709	832	231	427		

連結貸借対照表の総括

(単位：百万円)

		2022年 3月期 期末	2023年 3月期 2nd-Q	増減	主な要因
資 産	流動資産	7,309	7,871	+562	現金及び預金 ▲324 受取手形及び営業未収入金 +184 棚卸資産 +103 関税等立替金 +519
	固定資産	5,968	6,147	+179	投資有価証券 +146
	合計	13,277	14,019	+741	
負 債	流動負債	3,477	3,598	+120	営業未払金 +151 短期借入金 +67 流動負債その他 ▲89
	固定負債	2,061	2,334	+273	長期借入金 +228
	合計	5,538	5,933	+394	
純資産		7,738	8,086	+347	利益剰余金 +281

※自己資本比率56.7%（非支配株主持分を除いて計算）

四半期連結貸借対照表の推移

(単位：百万円)

		2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期			
		1st-Q	2nd-Q	3rd-Q	4th-Q 期末	1st-Q	2nd-Q	3rd-Q	4th-Q 期末	1st-Q	2nd-Q	3rd-Q	4th-Q 期末
資 産	流動資産	6,014	6,370	6,642	6,457	6,307	7,230	7,442	7,309	7,131	7,871		
	固定資産	5,730	5,811	5,694	5,837	5,729	5,842	5,777	5,968	5,862	6,147		
	合 計	11,745	12,181	12,336	12,295	12,036	13,072	13,220	13,277	12,993	14,019		
負 債	流動負債	3,295	3,275	3,297	3,250	3,047	3,458	3,456	3,477	3,212	3,598		
	固定負債	2,213	2,576	2,441	2,123	1,982	2,346	2,225	2,061	1,944	2,334		
	合 計	5,509	5,852	5,739	5,374	5,029	5,805	5,682	5,538	5,156	5,933		
純 資 産		6,235	6,328	6,597	6,921	7,007	7,267	7,538	7,738	7,836	8,086		

連結キャッシュ・フローの総括

(単位：百万円)

	2022年 3月期 通期	2023年 3月期 2nd-Q	キャッシュ・フローのポイント (2023年3月期 2nd-Q)
営業活動による キャッシュ・フロー	825	▲184	税金等調整前四半期純利益 +630 減価償却費 +124 売上債権の増加額 ▲167 関税等立替金の増加額 ▲519 法人税等の支払額 ▲223
投資活動による キャッシュ・フロー	▲149	▲286	有形固定資産の取得による支出 ▲35 無形固定資産の取得による支出 ▲40 投資有価証券の取得による支出 ▲183
財務活動による キャッシュ・フロー	▲200	122	長期借入れによる収入 +620 長期借入金の返済による支出 ▲324 配当金の支払額 ▲145
現金及び現金同等物に 係る換算差額	8	21	
現金及び現金同等物の 増減額	483	▲327	
現金及び現金同等物の 期末残高	2,634	2,307	

第七次中期経営計画(2020 - 2022年度)

独自の価値創造 *~Develop inherent value~*

大東港運らしさを追求し、
これからも選ばれ続ける会社を目指します。

当社グループを取巻く環境が急速に変化する中、持続的成長を実現するため、以下の4骨子から成る中期経営計画を策定しました。また期間中の機会とリスクを的確にとらえ、環境の変化に一早く適合することで競争優位性を確保していきます。

■ 骨子

1	コア事業の 拡大と基盤強化	<ul style="list-style-type: none">● 収益の拡大● 組織営業力の高度化= 営業力+バックアップ力+専門力+情報力● 生産性の追求と新たな価値の創出
2	物流インフラ事業の拡充	<ul style="list-style-type: none">● 物流インフラへの投資と既存アセットの有効活用● 安定した海上コンテナ運送の実現
3	人財育成の高度化	<ul style="list-style-type: none">● 競争力の源泉となる多様な人財の育成推進● 働きがいの持続的な向上
4	グループ全体成長	<ul style="list-style-type: none">● グループ各社の発展と協働強化

通期の連結業績予想について

2023年3月期 連結業績予想について

(単位：百万円)

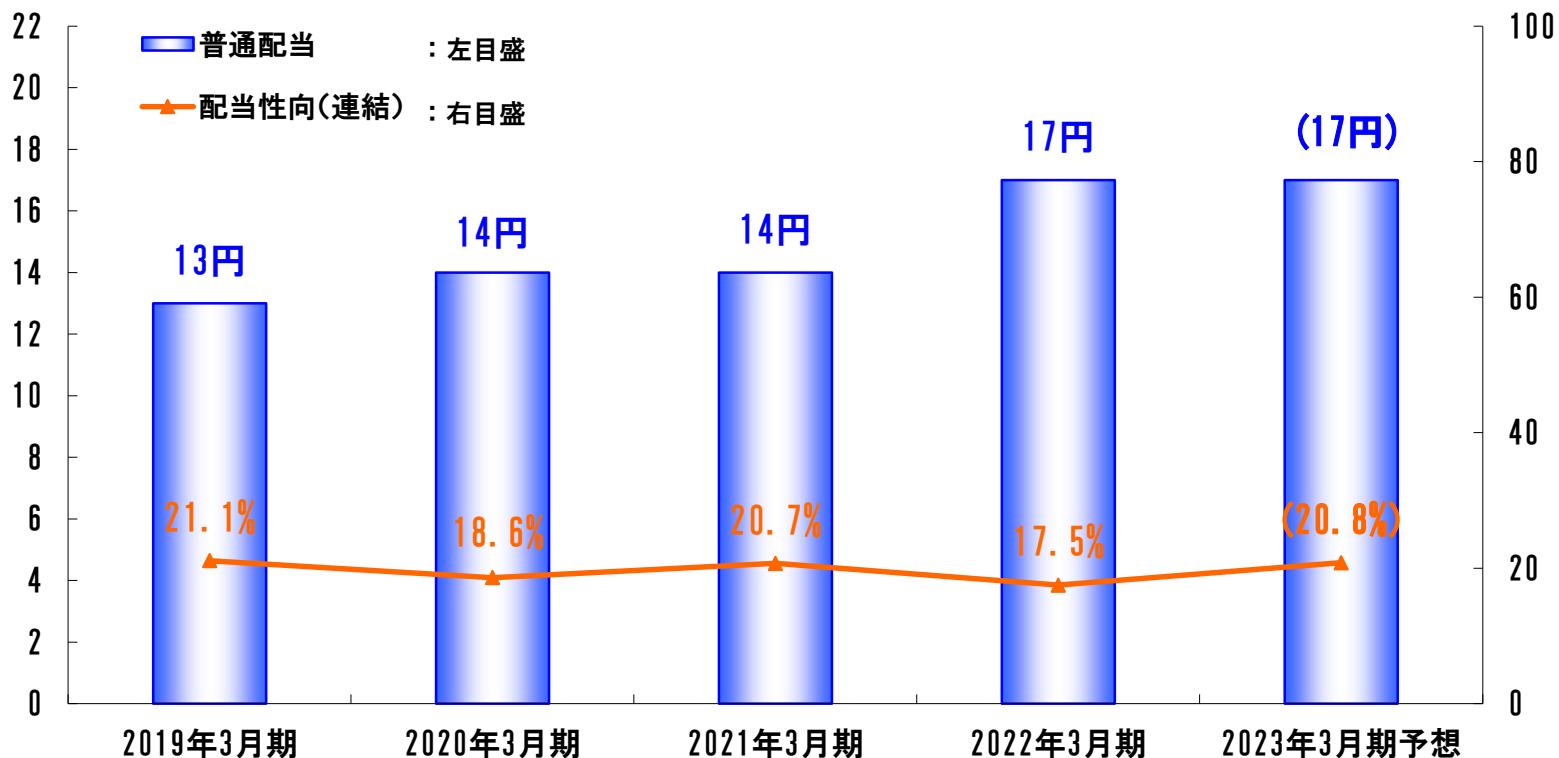
	2022年 3月期 通期	2023年 3月期 通期予想	増減	説 明
売上高	16,604	16,800	+195	新型コロナウイルスおよび地政学的リスクとグローバルな経営環境の変化によるエネルギー価格高騰や物価上昇等の終息には相応の時間を要すると想定するも、売上高は2022年3月期と同程度を見込んでおります。
営業利益	1,073	1,000	▲73	
経常利益	1,192	1,050	▲142	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	832	700	▲132	

配当金について

一株当たり配当金・配当性向（連結）

（単位：円）

（単位：％）



本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

本資料に関するお問合せ先

大東港運株式会社

総務部総務課

TEL : 03-5476-9701

E-mail : soumu@daito-koun.co.jp

URL : <https://www.daito-koun.co.jp/>